

## 【樹木の部屋】

### ヤマグワ(クワ科クワ属 *Morus australis* )

**和名**：ヤマグワ(山桑)      **別名**：クワ      **英名**：Chinese mulberry

バラ目 落葉低木      **原産地**：日本

**花言葉**：共に死のう、彼女の全てすべてが好き      **花色**：



← 写真-1 ヤマグワ

撮影日：2021年4月26日  
撮影場所：奈良市郊外にて  
撮影者：M さん

▽ 写真-2 ヤマグワの葉

撮影日：2021年4月26日  
撮影場所：奈良市郊外にて  
撮影者：M さん



← 写真-3 ヤマグワ

撮影日：2021年4月26日  
撮影場所：奈良市郊外にて  
撮影者：M さん





← 写真-4 ヤマグワの花序

撮影日：2021年4月26日

撮影場所：奈良市郊外にて

撮影者：M さん



→ 写真-5 ヤマグワの樹肌

撮影日：2021年4月26日

撮影場所：奈良市郊外にて

撮影者：M さん

北海道から九州まで日本全国の山地に広く自生し、かつては中国産のマグワと共に養蚕のための重要な飼料として栽培され、「蚕が食う葉」から「クワ」と呼ばれたそうです。日本以外でも中国や朝鮮半島に分布しているそうです。

葉は楕円形で、分裂しないか、深く3~5裂し、縁に鋸歯があり互生します。先は短く尾状にとがり、基部は切形または浅心形です。托葉(たくよう)は線状披針形または狭長楕円形で、先がとがり、背面に長い灰白色の軟毛が密生します。

雌雄異株ですが、まれに同株もあるそうです。4~5月頃に若枝下部の葉の脇から尾状花序を伸ばします。雄花序の柄は長さ1cmほどで円筒形。無柄または短柄のある雄花をつけます。雌花序は球形または楕円形で多数の雌花をつけます。雄花の花被片は卵形で先は鈍く、雌花の花被片は円形です。花弁はなく、雄花には4本の雄蕊、雌花には1本の雌蕊があります。雄花、雌花とも小さく目立ちません。果実は楕円形の集合果で紫黒色に熟し、甘みがあり、食べられます。果実に残る花柱が長く、目立ちます。樹皮は灰色っぽい褐色で、樹齢を重ねると縦に剥離します。材は硬質で耐久性が高いことに加え、

色味が良く、「杗(もく)」と呼ばれる美しい模様が入りやすいことから、床柱、框(かまち)、茶道具、針箱、鏡台、家具、仏壇など見た目を重視する造作の化粧に使われたそうです。

<ちょっと一言>

\* 托葉(たくよう)：葉の基部についている一対の小さなかけら。